

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析(松江市全体～中学校・義務教育学校後期課程)

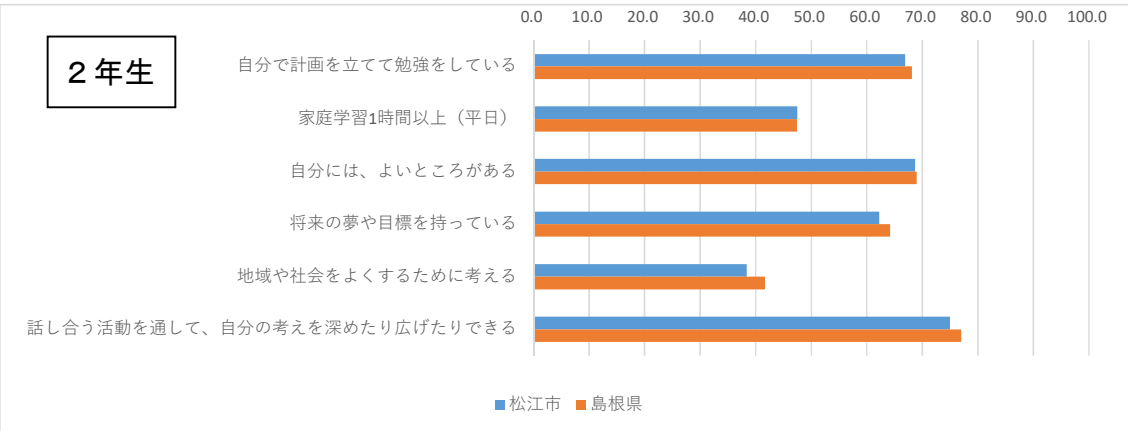
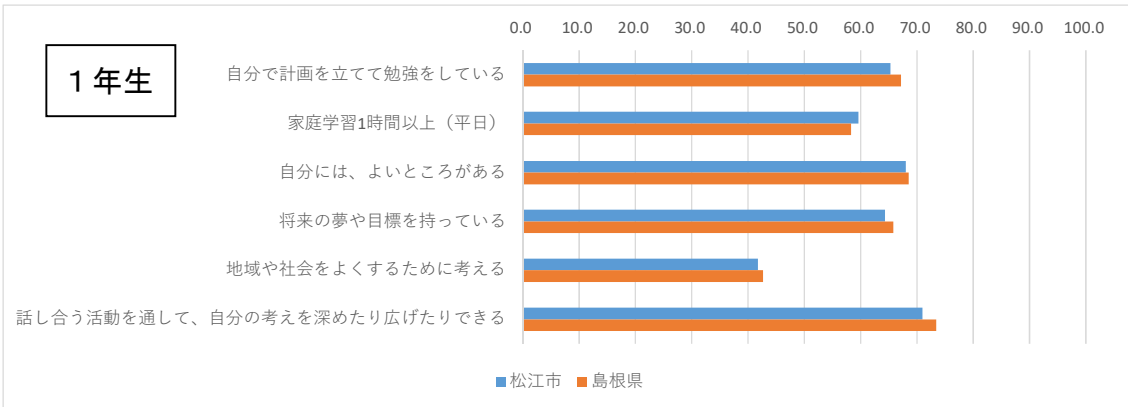
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○「漢字を読む・書く」において、学習の定着が見られる。 ○「読むこと」において、説明的な文章・文学的な文章とも叙述にもとに捉えられている。 ●「書くこと」において、自分の考えを明確にして条件に沿って記述すること、無回答率が高いことに課題がある。	2 年 国 語	○「我が国の言語文化に関する事項」において、古典、文法・語句について理解している。 ●「書くこと」において、読み取りをもとに記述することは概ねできているが、資料から自分の考えを明確にして記述すること、無回答率が高いことに課題がある。
1 年 数 学	○「図形」領域での理解が定着している。 ○「数と式」と「関数」領域の基礎的内容については概ね定着している。 ●短答・選択式の問題に比して記述式の解答を求められる問題を苦手としている。	2 年 数 学	○「図形」領域の基礎的問題は概ね理解できている。 ○1次関数の基礎的問題について概ね理解できている。 ●「数と式」領域で特に文字式の基礎的理解を進める必要がある。 ●「関数」領域でグラフや表の読み取りに課題がある。
1 年 英 語	○日常的な話題や対話の内容を聞き、内容を理解すること。 ●対話の内容を理解し、話の流れに合うように英文を書くこと。 ●まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、必要な情報を理解し、英語で答えること。	2 年 英 語	○日常的な話題や対話の内容を聞き、内容を理解すること。 ●対話の流れに合った英文や自分の考えを、相手に伝えるように書くこと。 ●長文を読み、その概要を捉え、英文にまとめること。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○他者と関わり、自分の考えを深めたり広めたりできている。 ●R3年度小6だった時との数値比較をすると、R4年度は下記項目の全ての数値が下がっている。コロナ禍の影響や小中の生活・学習の違いによる戸惑いなどが考えられる。 ●学力調査の結果と「計画をたてて勉強をしている」「家庭学習時間」が効果的に結びついていない。見通しのもとせ方や学習の進め方について指導がいる。	2 年	○R3年度に中1だった頃と比較すると「自分にはよいところがある」「話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広めたりできる」が大きく伸びている。 ●R3年度に中1だった頃と比較すると家庭学習は大幅に減っている。 ●「地域や社会をよくする」項目は肯定的意見が低く、自分自身が地域に生きているという実感がもてていない。「家庭学習時間」と併せ、自分事として捉えさせる仕掛けが必要。
--------	--	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 1545名 2年生 1422名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

<参考> 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	松江市	59.4	54.2	50.3
	島根県	58.5	52.5	51.6

<参考> 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	松江市	66.2	47.9	50.8
	島根県	65.3	45.9	49.4